

平成28年10月28日
国土交通省中部地方整備局
名古屋港湾事務所

お知らせ

名古屋港でコンビナート火災を想定した、 大規模な油回収訓練を実施 ～名古屋港に油回収船機能を有する船舶2隻のうち白龍1隻が参加～

名古屋港湾事務所では、平成28年11月8日(火)に新日鐵住金(株)名古屋製鉄所(愛知県東海市東海町)及びその周辺海域において実施される、「平成28年度愛知県石油コンビナート等防災訓練」の海上訓練に事務所所属の海洋環境整備船「白龍」が参加します。

1. 内容

本訓練は、南海トラフを震源とする巨大地震が発生したことを想定し、海上訓練と陸上訓練の2会場に分かれ訓練を実施します。

海上訓練は、突発型地震の発生により津波が襲来し、油が海上に流出する等の想定のもと、油回収船機能を有する「白龍」が流出油事故対応を図ることを目的とした海上訓練に参加し、流出油の回収及び航走拡散訓練(流出油防除訓練)を行います。



平成27年度 訓練写真

■主 催

愛知県、東海市、第四管区海上保安本部、名古屋海上保安部
※陸・海・空 18 機関が訓練に参加します。

2. 日時・場所

日 時 : 平成28年11月8日(火) 13時30分～16時10分、
場 所 : 愛知県東海市東海町(新日鐵住金(株)名古屋製鉄所)及びその周辺海域

3. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、
港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

4. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局
名古屋港湾事務所 海洋環境・防災課 中野(なかの)・島田(しまだ)
Tel 052-651-6791 Fax 052-651-3801

海洋環境整備船「白龍」の概要

「白龍」の行う業務

- 通常は、伊勢湾・三河湾の海面浮遊ゴミの回収作業
- 油流出時には、速やかに流出現場に向かい油回収作業
- 伊勢湾の環境メカニズム解明のために、水質及び底質の定期的な観測を実施。
- 大規模地震・津波発生時の航路啓開。



担務海域
伊勢湾・三河湾 (1,800km²)



諸元
全長 33.5m
全幅 11.6m
総トン数198t

中部地方整備局 名古屋港湾事務所 所属



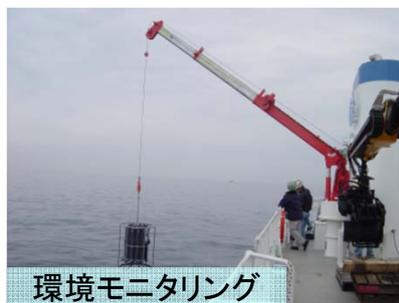
ゴミ回収状況



ゴミ回収状況



油回収装置



環境モニタリング



回収ゴミの陸揚げ

東日本大震災における災害支援(海上漂流物の除去) (平成23年4月23日～5月19日)

○海上物流拠点の仙台塩釜港及び石巻港を有する仙台湾周辺海域において、航行船舶の安全を図るため津波により発生した大量の漂流物を回収。

○漂流物回収量【239.1m³】